

## 《当JAにおける自己改革への取り組み状況について》

(令和3年3月末現在)

### 1. 組合員とともに

重点実施事項	具体的内容	取組内容
販売額の向上	付加価値販売の拡大	機能性表示食品【プライムアップル!】を引き続き販売。 プライムアップル! 「ふじ」 51,062玉 (前年対比106.5%) 「王林」 33,366玉 (前年対比190.9%)
	安定的な売り場の確保	高糖度選別品【HIROSAKI SELECT】を新規販売。 「ひろさきふじ」 28,796玉 「トキ」 9,081玉
	JAつがる弘前米の知名度向上と販売の強化	大阪市学校給食会へ「JAつがる弘前米」の取扱いを提案。 まっしぐらが新たに採用。(4,000俵)
輸出の取り組み強化	既存ルートへの出荷量拡大や新たな輸出先の開拓	既存ルートおよび取引市場と商談を進め出荷量拡大。 輸出出荷実績3,119t。(前年対比132.2%) 無袋品種を初めてベトナムへ出荷。 (サンふじ1,008ケース、王林144ケース)
園芸作物の強化	園芸推進品目の新規出荷者増加と作付面積拡大	新規出荷者獲得運動を実施し、新規出荷者が49人増加。 (ピーマン15人、にんにく11人、ミニトマト4人、桃19人)

### 2. 農業のあしたへ

健康管理活動の推進	農業を元気に継続するための健康管理活動	組合員と家族を対象にした健康管理活動の取り組み。 (人間ドック受診者数712人、血液検査受診者数236人、複合健診受診者数20人)
更なる生産コストの軽減	低コスト資材の更なる拡大と予約購買の強化による農家経営のコスト軽減	特別価格商品の拡大。 (肥料 193,064千円 前年対比104.6%) (りんご袋 104,024千円 前年対比106.8%)
労働力不足に対応した支援対策の拡充	無料職業紹介事業を周知するとともに、求職者に主眼を置いた内容の充実	初心者向けりんご研修会で事業の概要を説明。また、ホームページや広報誌、弘前市広報に掲載し広く周知した結果58件のマッチングとなった。(前年対比446.2%)

### 3. 地域とともに

地域交流イベントの開催	直売所・軽トラ市の充実	新型コロナウイルス感染防止対策に伴いイベント自粛。直売所通常イベントはかあさんの店で1回実施。(平年、4直売所2回)季節セール(小規模)は4直売所で計5回実施。軽トラ市は3回実施。(前年5回)
	イベント開催による地域農産物の普及拡大	
地域との結びつき強化	支店運営委員会の更なる活性化により地域の輪を拡大	12月と3月に支店運営委員会を開催。 一部地域では、JA、小学校、青年部が合同で野菜植え付け、収穫作業を実施。
地産地消の拡大	農業体験や食農教育を通じて農業の重要性を発信	管内5小学校、1児童館に通う児童を対象に農業塾を実施。また、児童館の児童が自分たちで栽培した野菜を軽トラ市で販売。
	管内の学校給食等へおいしい地域農産物の供給拡大	管内の学校給食につがるロマン3,300俵を供給。 (前年対比100.0%)

### 4. 組織・経営基盤の確立に向けて

組合員加入の促進	次世代農業者および女性農業者等への加入促進	組合員加入促進の取り組み。(292人が新規加入)
組織基盤の強化	組合員組織の見直しの検討と活性化	年金友の会は、活動の充実を図るため弘前北支店内の新和・小友・三和を統合。